

第2回 学力向上のための教育課程見直し懇話会

日 時：平成27年8月27日（木）
午前10時～午前11時半
場 所：市役所11階
教育委員会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 議 事

（1）アンケート結果について

- ① 保護者アンケート結果
- ② 教職員アンケート結果
- ③ 市政モニターアンケート結果について

（2）教育課程見直しに伴う授業時数の活用について

3 閉 会

※今後の日程について

第3回懇話会 平成27年9月15日（火）10:00～11:30
第4回懇話会 平成27年9月29日（火）17:00～18:30

(1) アンケート結果について

① 保護者アンケートについて

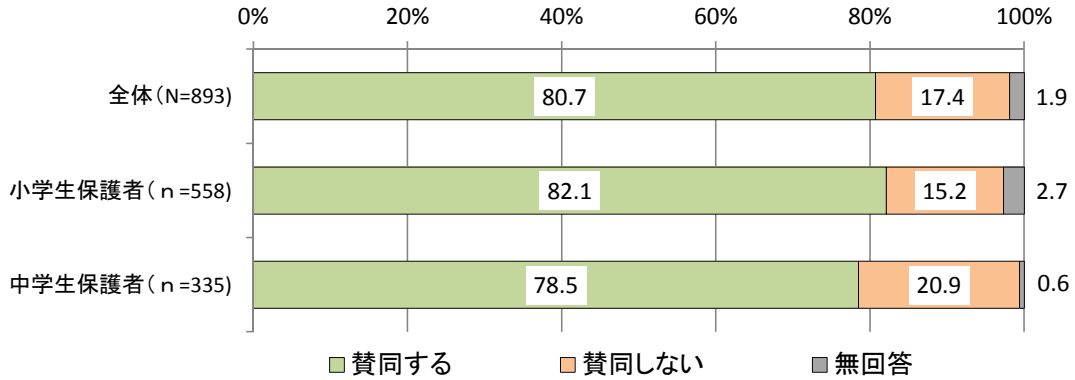
■実施期間 平成27年7月

■市内の市立小中学校から31学級を無作為に抽出し、児童生徒を通して配布、回収

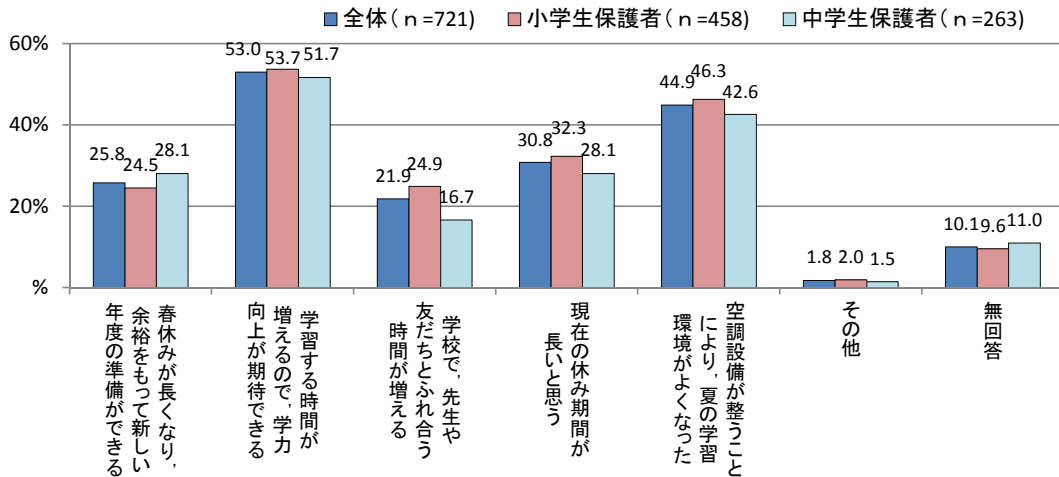
| | |
|-------|--------|
| 配布数 | 1008 件 |
| 有効回収数 | 893 件 |
| 回収率 | 89 % |

⇒小学校 558件, 中学校335件

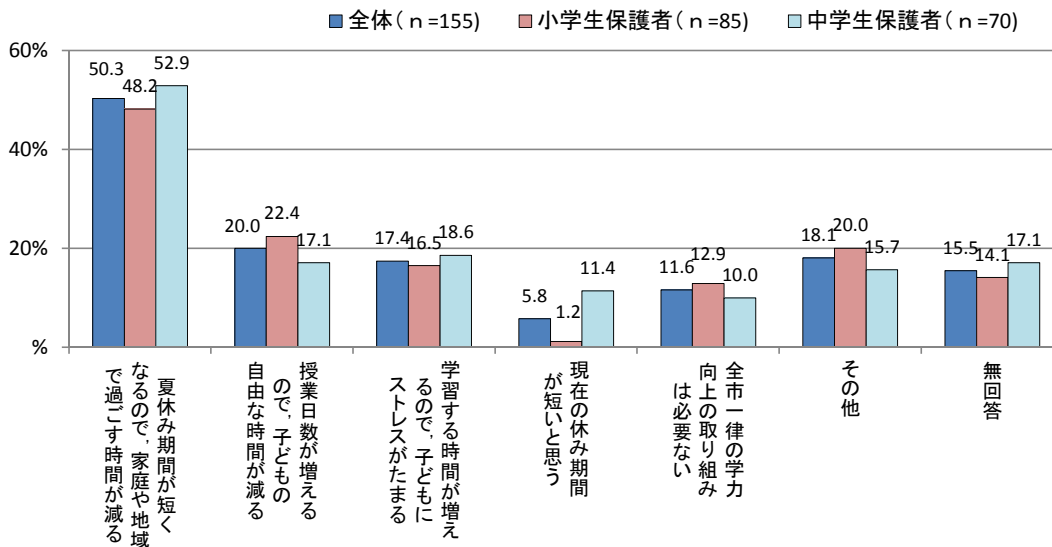
【始業日・終業日(休み期間)の見直しについて】



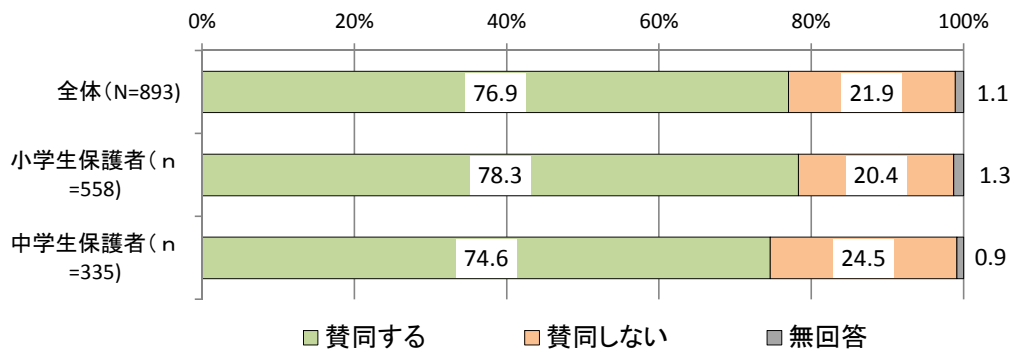
《賛同する理由・複数回答》



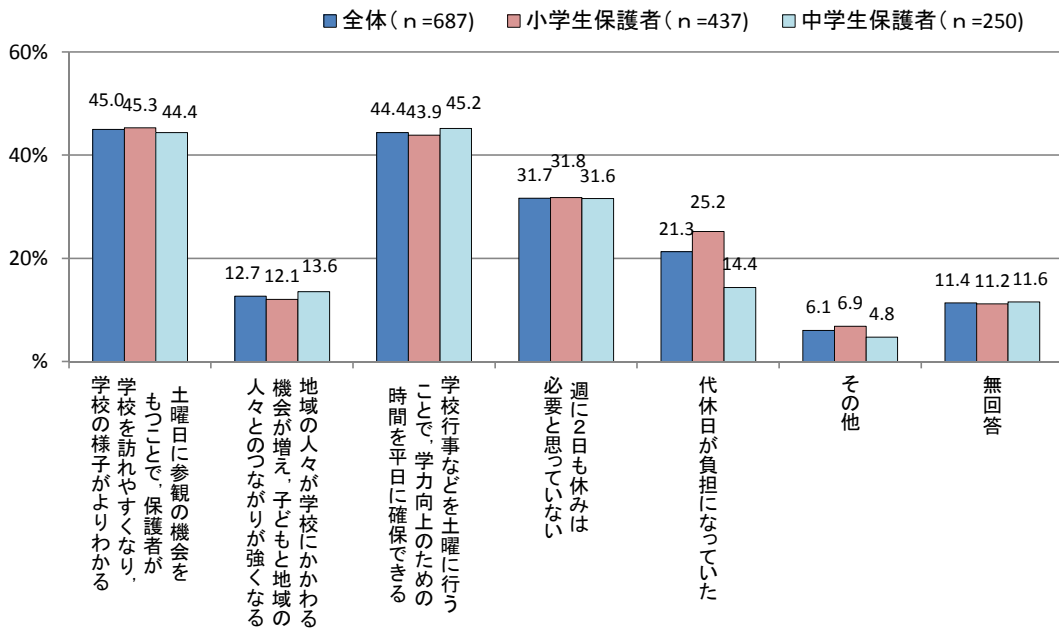
《賛同しない理由・複数回答》



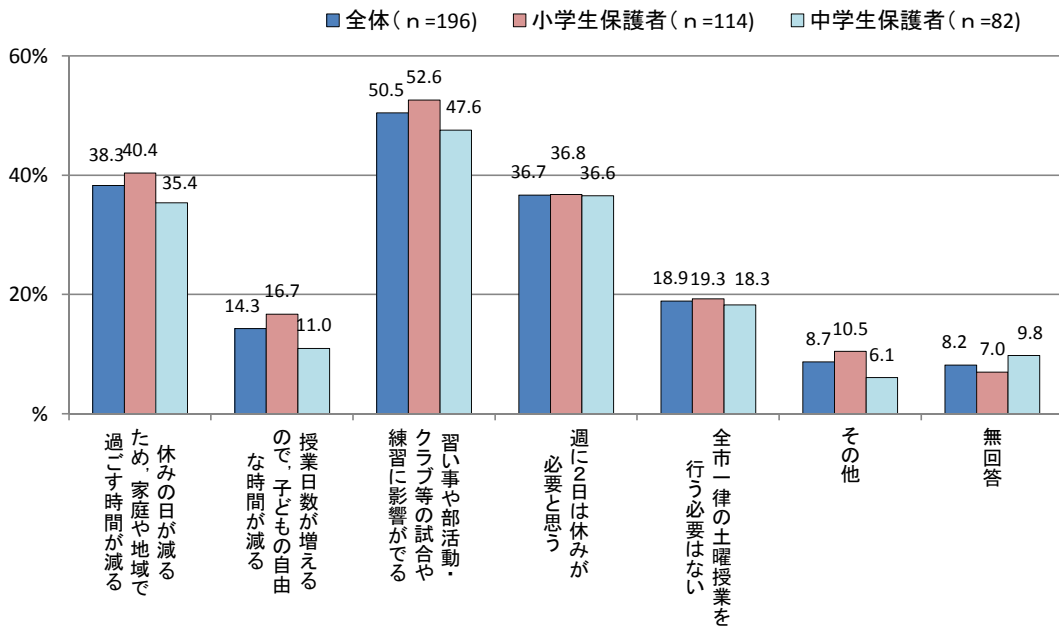
【代休日を設けない土曜授業について】



《賛同する理由・複数回答》



《賛同しない理由・複数回答》



保護者アンケートの主な自由意見について

【始業日・終業日(休み期間)の見直しについて】

| | | |
|---|----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みが長く、遊んでばかりで、生活が不規則になる。 ・共働きなので、子どもだけですごしており不安であった。学校に行けると安心する。 | など | 14件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学習の時間が増え、学力向上が期待できる。また、友達と関わる機会も増える。 ・私学との差の解消や塾に行かなくてよい公教育を期待する。 | など | 12件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・春休みを長くする必要はない。 ・1学期にもゆとりをもってほしい。 | など | 7件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・いまのままの休みでよい。 ・9/1からという区切りに慣れていおり、気持ちの切り替えがしやすい。 | など | 7件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業日数よりも先生の質、授業の質を向上してもらいたい。 | など | 7件 |

【代休日を設けない土曜授業について】

| | | |
|--|----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・土曜隔週授業にしてほしい。月1回は土曜授業をしてほしい。 ・高校は土曜授業があっている徐々に慣らすほうがよい。 | など | 23件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・習い事やクラブ活動・部活動の試合などに影響がある。 | など | 9件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・代休は、とても負担になっていた。 ・代休日に休めないので、子どもが何しているかわからない。 | など | 8件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業は、基本的なことを学ぶ授業など普通の授業をしてほしい。 ・土曜授業は、行事と授業をバランスよく行ってほしい。 | など | 8件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日は午前中で終わる方がよい。 | など | 7件 |

子どもの自由意見について

【始業日・終業日(休み期間)の見直しについて】

| | | |
|--|----|----|
| <ul style="list-style-type: none">・子どもは残念がっています。今まで通りでよいといっている。・親は賛同, 子どもは賛同しませんでした。 | など | 7件 |
| <ul style="list-style-type: none">・子どもは長期休みの宿題が多いので, 休みはない方がよいといっています。・子どもは毎年夏休みはいらなないといっている。 | など | 4件 |

【代休日を設けない土曜授業について】

| | | |
|--|----|----|
| <ul style="list-style-type: none">・子どもは土曜日に習い事をしているため, あまり賛同していないようです。・子どもは体を休める時間が減るといっています。・親は賛成ですが, 子どもは週休2日がよいと言っています。 | など | 8件 |
| <ul style="list-style-type: none">・子どもも賛同です。・子どもが学校が好きで, 家にいるより先生や友達といたいそうです。 | | 2件 |

②教職員アンケートについて

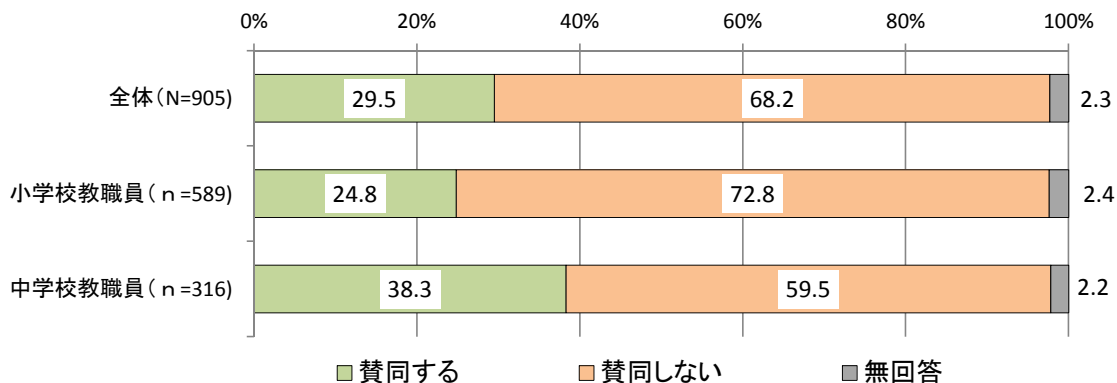
■実施期間 平成27年7月

■市内の市立小中学校から31校を無作為に抽出し、その学校の全教職員に配布、回収

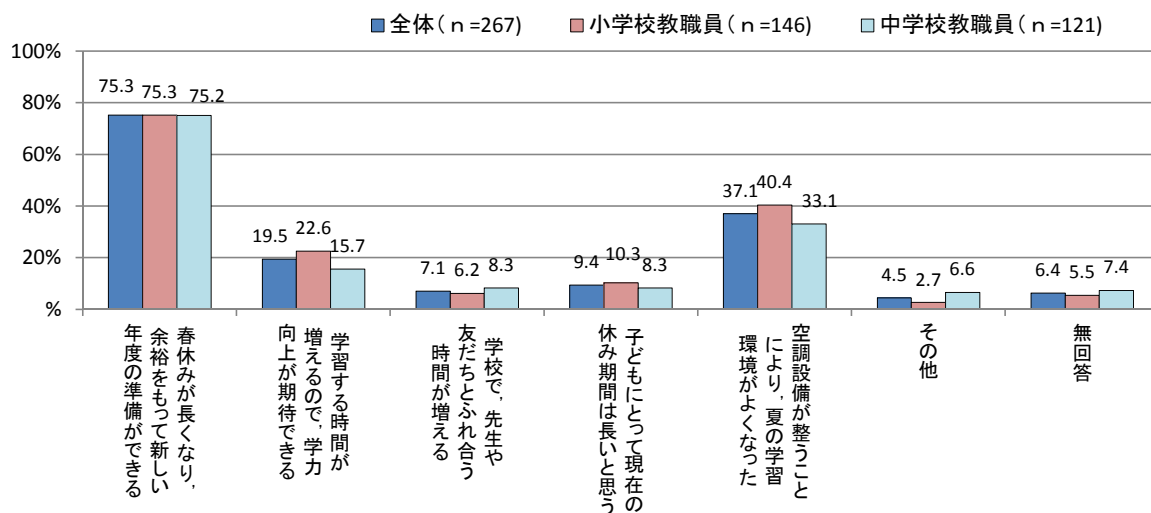
| | |
|-------|--------|
| 配布数 | 1030 件 |
| 有効回収数 | 905 件 |
| 回収率 | 88 % |

⇒小学校 589件, 中学校316件

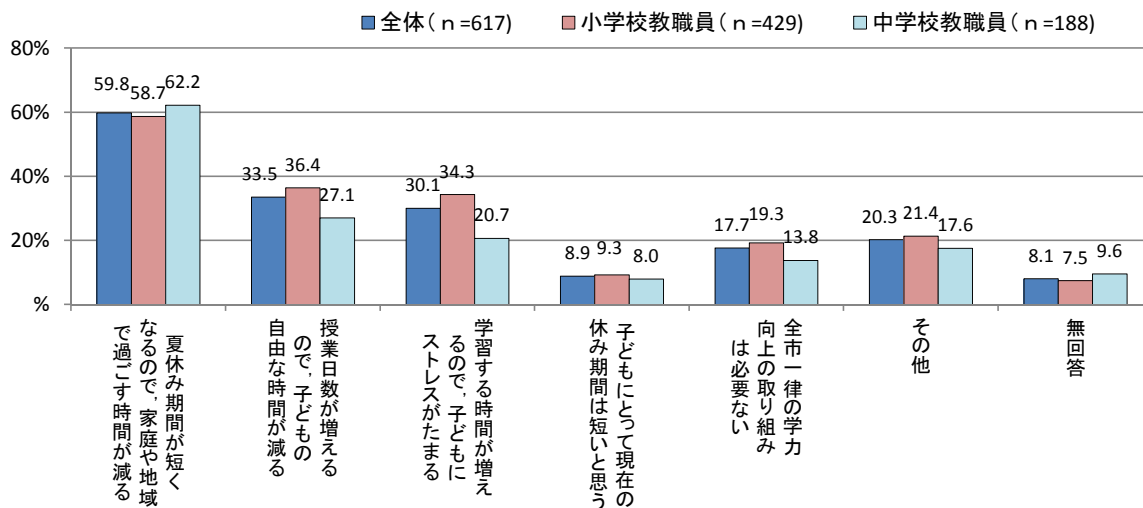
【始業日・終業日(休み期間)の見直しについて】



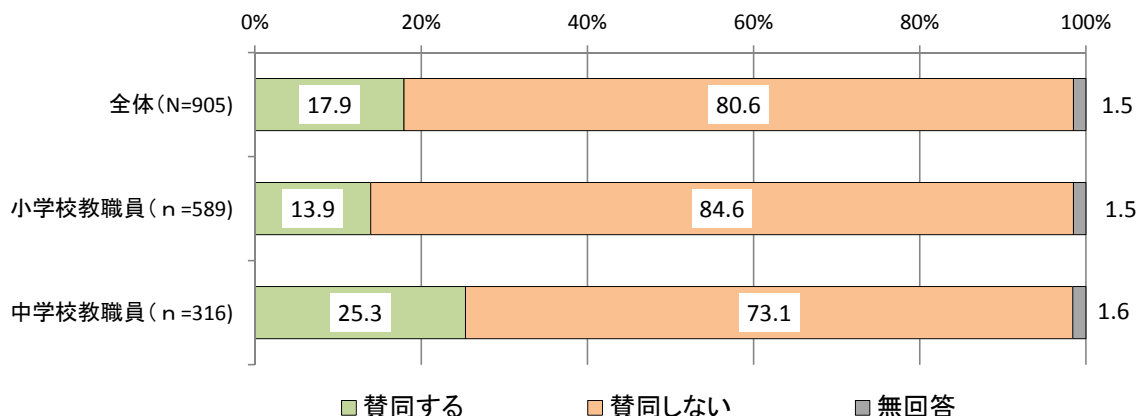
《賛同する理由・複数回答》



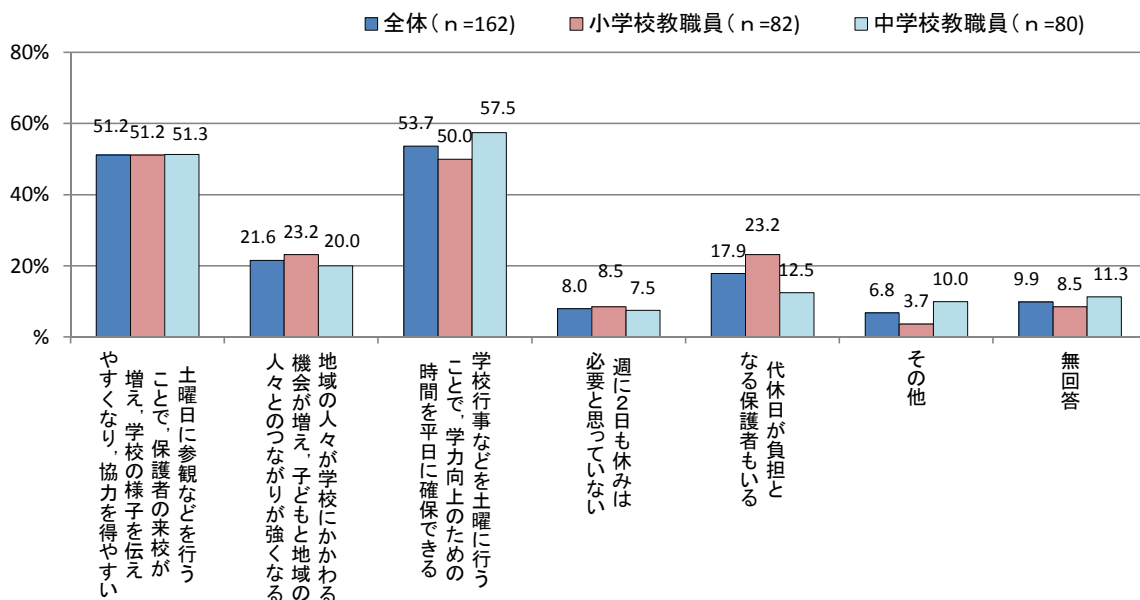
《賛同しない理由・複数回答》



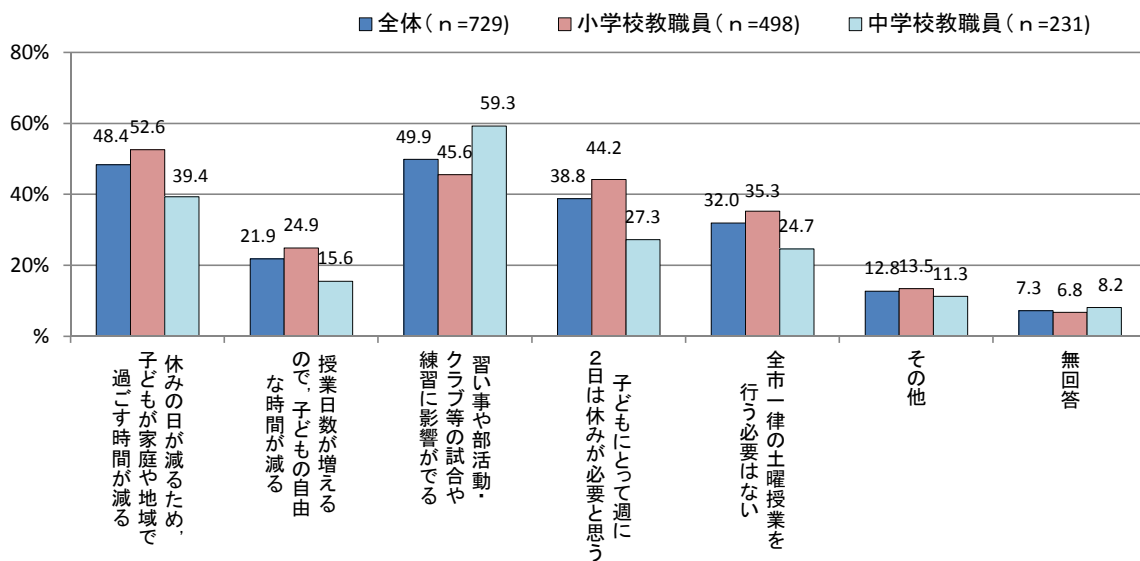
【代休日を設けない土曜授業について】



《賛同する理由・複数回答》



《賛同しない理由・複数回答》



教職員アンケートの主な自由意見について

【始業日・終業日(休み期間)の見直しについて】

| | | |
|--|----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業時数を増やすことが学力向上に直結するのかわからない。 ・授業日数が増えても学力が向上するとは思わない。 | など | 34件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・教員の負担が増えるので、配慮してほしい。 ・現在も業務量が膨大で忙しいので、改善してほしい。 | など | 22件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みにさまざまな経験を積むことが、子どもたちの力になると思う。 ・夏休みに家族で過ごす時間を子どもたちに大切にしてほしい。 | など | 14件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・教員の質の向上により、授業内容を充実させる方が効果があると思う。 | など | 14件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・春休みが長くなることには賛同する。 ・春休み期間の見直しは、子どもにも教員にも有意義だと思う。 | など | 13件 |

【代休日を設けない土曜授業について】

| | | |
|--|----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教員の負担が増えるので、配慮してほしい。 ・現在も業務量が膨大で忙しいので、改善してほしい。 | など | 34件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの習い事やスポーツクラブ活動などに影響がある。 ・習い事を優先し、欠席する子どもが多くなるのが心配である。 | など | 28件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの負担になる。子どもは疲れている。 ・現在の子どもの生活リズムが崩れる。 | など | 26件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・年休が取れなくなり、健康面に不安がある。 ・疲れが取れず、教員は週2日休みが必要である。 | など | 20件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが家庭で過ごす時間が大切である。 | など | 19件 |

③ 市政モニターアンケートについて

■ 実施期間 平成27年7月

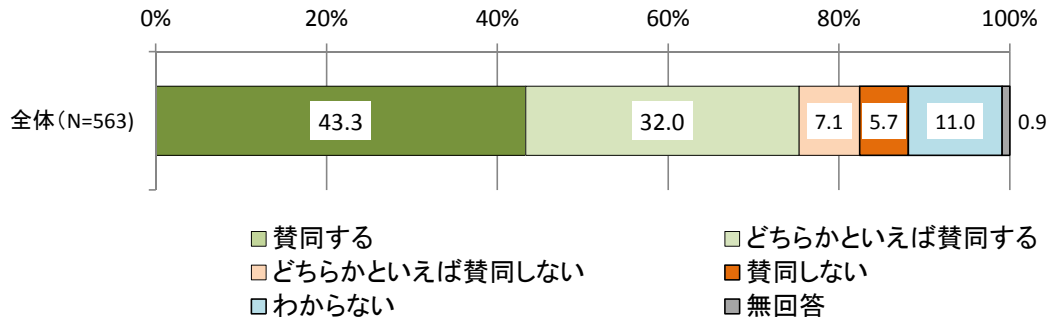
■ 市政の様々なテーマごとにアンケート協力いただく市政モニター(市民の方)へ配布、回収

| | |
|-------|-------|
| 配布数 | 634 件 |
| 有効回収数 | 563 件 |
| 回収率 | 89 % |

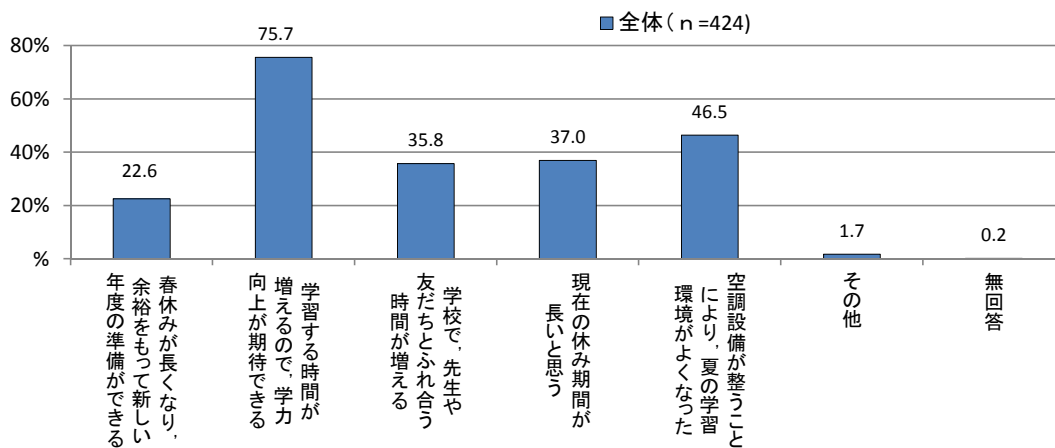
※ 市政モニターの職業別割合

| | | | | | |
|-----------|-------|-----|-------|-----------|-------|
| 会社員・団体職員 | 36.1% | 公務員 | 2.5% | 契約社員・派遣社員 | 5.9% |
| パート・アルバイト | 11.2% | 自営業 | 5.0% | 主婦 | 19.2% |
| 学生 | 2.8% | 無職 | 14.7% | その他 | 2.7% |

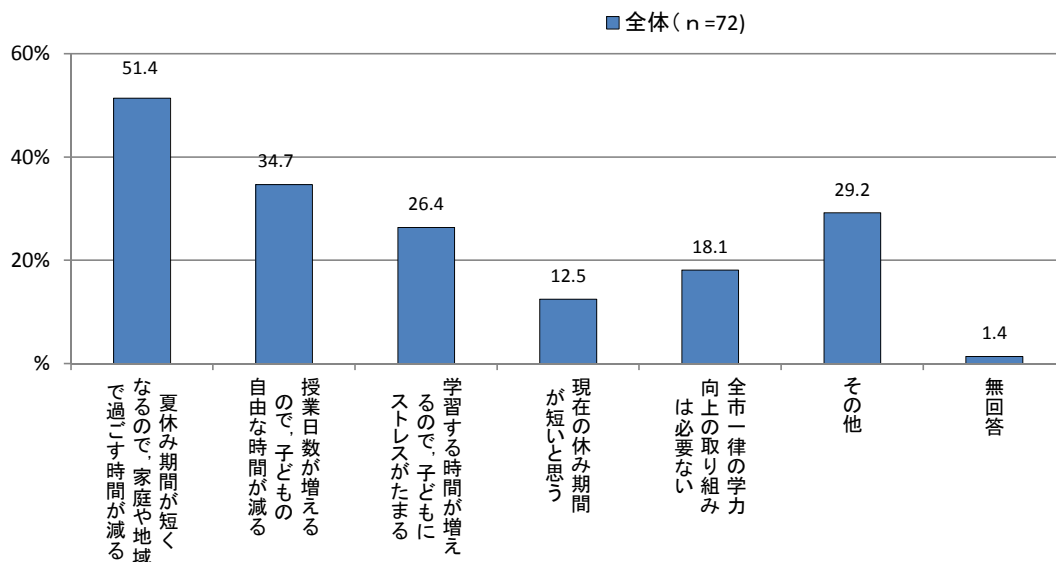
【始業日・終業日(休み期間)の見直しについて】



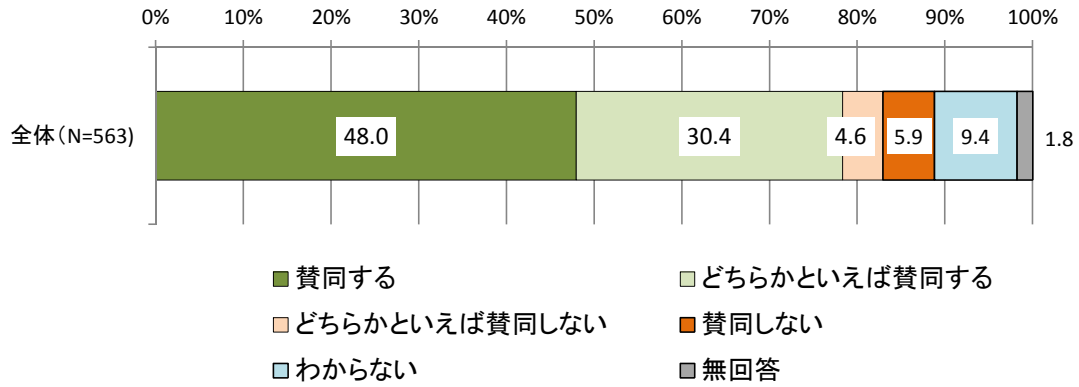
《賛同する理由・複数回答》



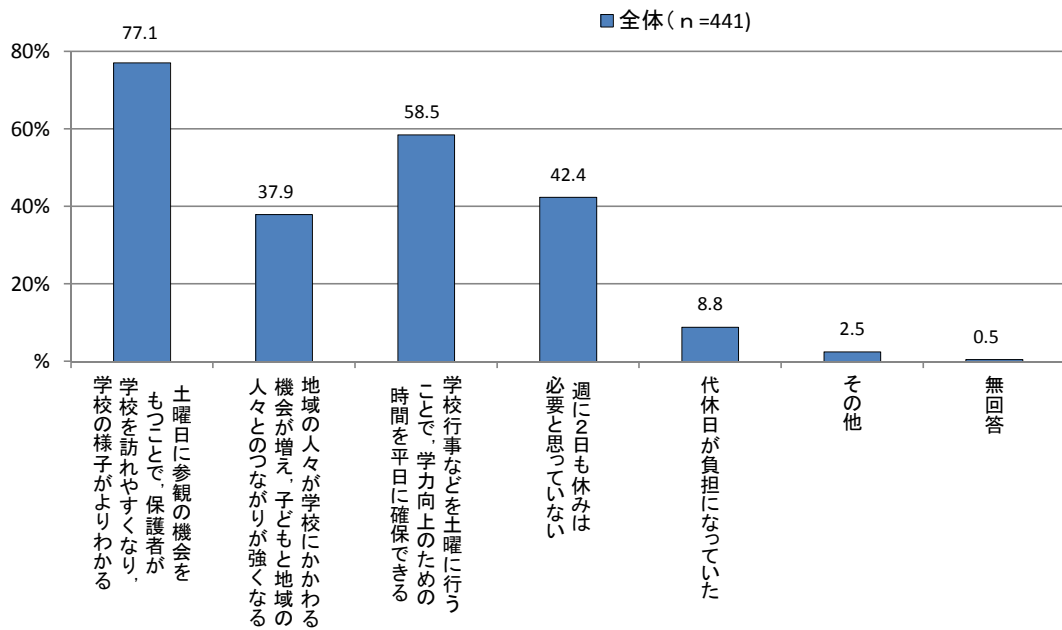
《賛同しない理由・複数回答》



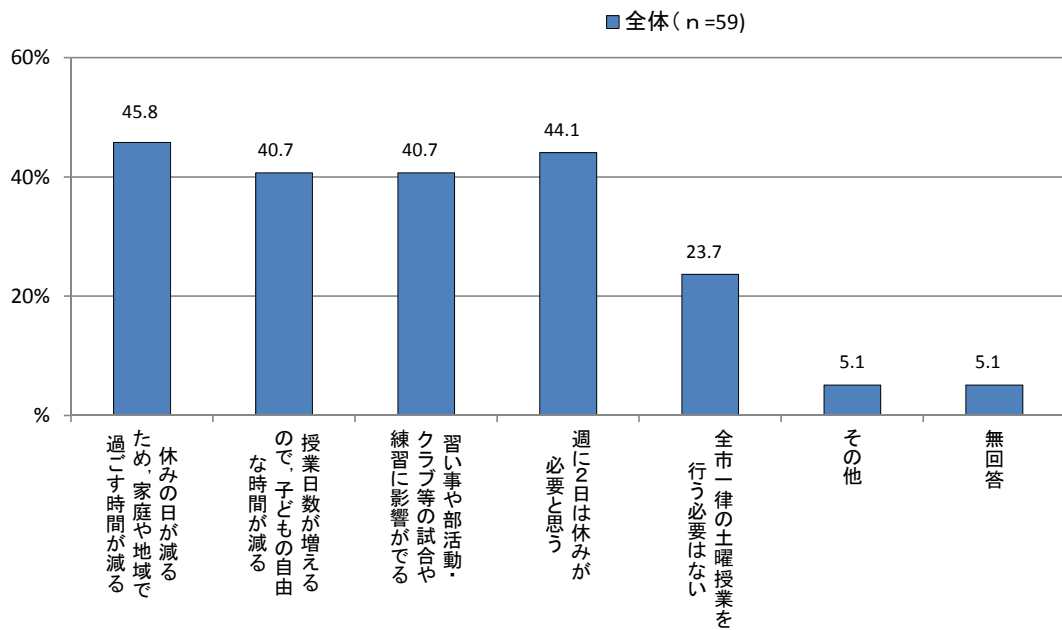
【代休日を設けない土曜授業について】



《賛同する理由・複数回答》



《賛同しない理由・複数回答》



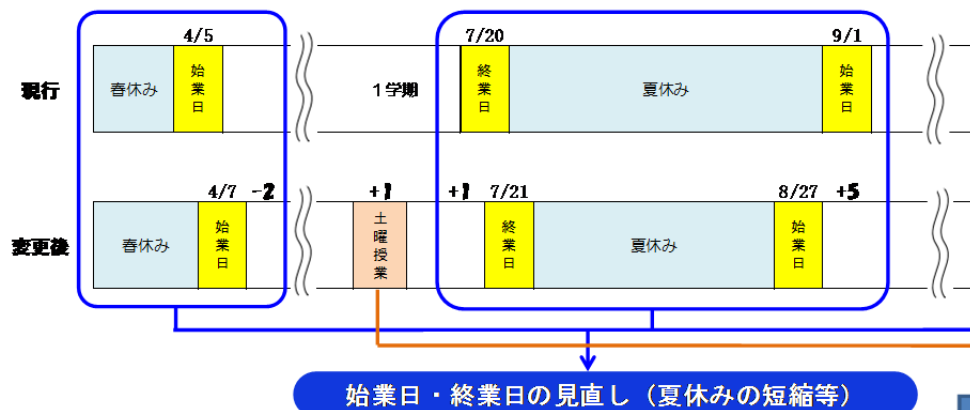
市政モニターの主な自由意見について

【始業日・終業日(休み期間)の見直し及び代休日を設けない土曜授業について】

| | | |
|---|----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> ・昔は土曜日も授業があっていたが、苦にならなかった。 ・昔のように毎週午前中の土曜授業を実施してもよいのではないか。 | など | 33件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学習の時間が増え、学力向上が期待できる。 ・私学との差の解消や塾に行かなくてよい公教育を期待する。 | など | 23件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・現在、休みが多いと感じている。もっと学校で勉強するべきで、夏休みは長いので1学期で身に付いたことが無駄になる。 ・共働きが増えている中、長期間家庭学習に委ねるのは無理がある。 | など | 22件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・増加した日数で、学力向上だけでなく、心を育てる教育を充実してほしい。 ・増加した日数で、道徳教育や福祉教育などを充実してほしい。 | など | 17件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとり教育を見直すことがあって良いのではないか。 ・ゆとり教育による学力低下が気になっている。若い時にしっかり勉強をしなければならないと思う。 | など | 11件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・先生の負担が心配である。 ・教員にとって不利な点しかないのであれば、その改善を考えてほしい。 | など | 9件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも代休日は必要ないと思っていた。 ・代休は、働く親にとって負担になっていた。 | など | 9件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・いままでどおりで特に問題ないと思う。 | など | 8件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が学校に行く機会が増え、学校のことがよくわかるようになる。 | など | 8件 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・授業日数が増えることで、平日のゆとりや詰め込み教育が解消できると思う。 | など | 7件 |

(2) 教育課程の見直しによる授業時数の活用について

年間の教育課程見直しにおける補足的な学習や発展的な学習の実施イメージ



約8日間の授業日数 (約)

■■■■ 補足的な学習や発展的な学習の時間の配置 (■■■■ は、学校の実態に)



※ここに示す補足的な学習や発展的な学習の時数は、およその目安である。年度や

1. 学力向上の考え方

○ 学力とは

知識・技能はもちろんのこと、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力なども含めたものである。これは、文部科学省の示す「確かな学力」に他ならない。

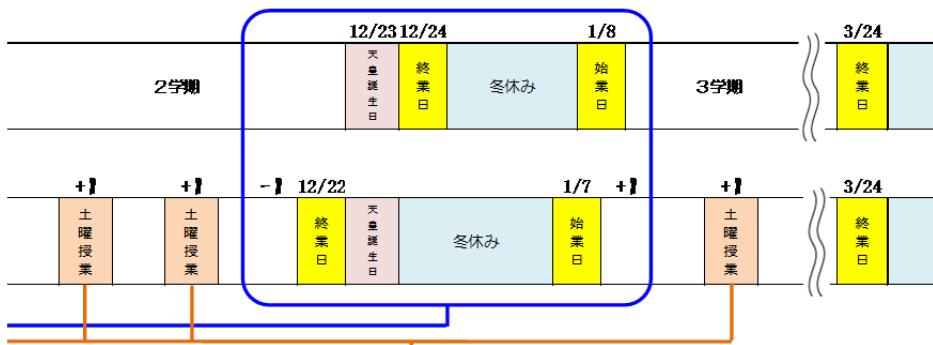
○ トップレベルの学力をめざすとは

児童生徒一人ひとりに確かな学力を身につけさせていくことが、現状の学力をさらに高めて、全国トップレベルの学力へつながると考え、目標として設定した。

学力の状況については、「全国学力・学習状況調査」の結果を指標の一つとして、経年の変化を見てきた。この取組においても判断材料の一つとしたい。

○ 授業時数を生み出す意義

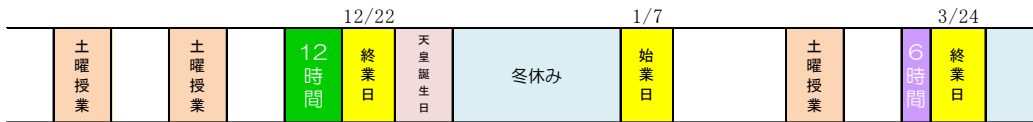
標準授業時数で行う通常の学習では教科書の学習内容を進める必要があるが、今回新たに生み出す授業時数で行う補足的な学習や発展的な学習は、授業を先に進めるのではなく、児童生徒の学力課題に応じた学習を行い、確かな学力の定着を図ることが目的である。



「代休日を設けない土曜授業」の実施

30時間の授業時数)

合わせ時期を検討する。)



学校の実態に応じ若干の違いが生まれる)

2. 生み出す授業時数の活用について

○ 年間の時数の配置

学習内容が最も多く内容も高度になる二学期に重点的に配置する。小学校では二学期の始めと終わりに、中学校では、二学期の始めと定期考査前に配置する。さらに年間の要所要所に学習のまとめの時間を配置する。

○ 実施する教科

小学校は、国語・算数・社会・理科，中学校では、国語・数学・社会・理科・英語を中心に行うようにするが、「読み・書き・計算」を中心とした学習内容の確実な定着は、すべての教科の学力の基礎となるものであり、最優先すべき課題であるとする。

○ 指導の形態

これまで各学校で取り組んできた指導方法工夫改善の手法を十分に生かした取り組みが求められる。

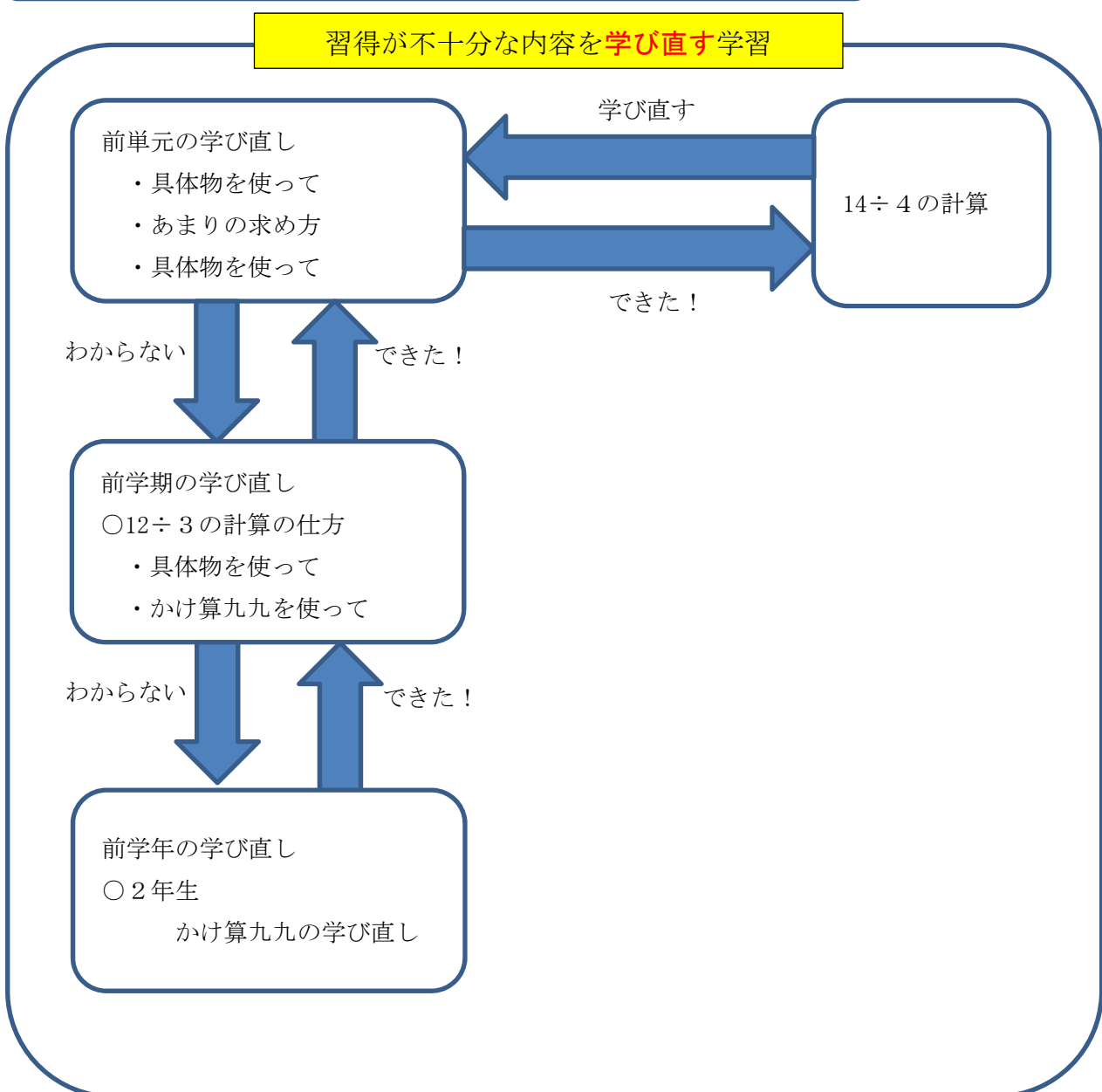
1人の先生が各教室で行う一斉指導，複数の先生が1つの教室に入って指導をするティーム・ティーチング，学級の枠を取り払い，子どもの実態に応じてコースを設定するコース別学習，習熟度別学習など，各学校の実態によって，様々な形態が考えられる。

○ 補足的な学習について

補足的な学習とは、学力課題の大きな児童生徒に基礎的な知識・技能の確実な定着を図るための学習である。具体的には以下の3つの学習である。

- ① 「習得が不十分な内容を**学び直す**学習」
- ② 「類似問題、ドリルの取組を**繰り返す**学習」
- ③ 「少しずつ難しい問題へと**積み重ねる**学習」

3年生算数科「あまりのあるわり算」の補足的な学習



類似問題，ドリルの取組を繰り返す学習

計算技能の定着

$14 \div 4$

$12 \div 4$
 $13 \div 4$
 $14 \div 4$
 $15 \div 4$
 $16 \div 4$
 \cdot
 \cdot

割られる数
を変えて

$14 \div 2$
 $14 \div 3$
 $14 \div 4$
 $14 \div 5$
 $14 \div 6$
 \cdot
 \cdot

割る数を変えて

$11 \div 3$
 $31 \div 7$
 $21 \div 6$
 $23 \div 8$
 $41 \div 6$
 \cdot
 \cdot

ランダムに

問題の解きやすさやバリエーションを考えて繰り返す

少しずつ難しい問題へと積み重ねる学習

文章問題を解く

繰り下がりのある引き算で余りを求める

繰り下がりのない引き算で余りを求める

$17 \div 2$
 $38 \div 7$
 $43 \div 5$
 $23 \div 3$

$11 \div 3$
 $31 \div 7$
 $21 \div 6$
 $23 \div 8$

「クッキーが33枚あります。1袋に6枚ずつ入れると、何袋できて何枚あまりますか」

「23人でカートに乗ります。カートは6人乗りです。みんなが乗るには、何台いらいますか」

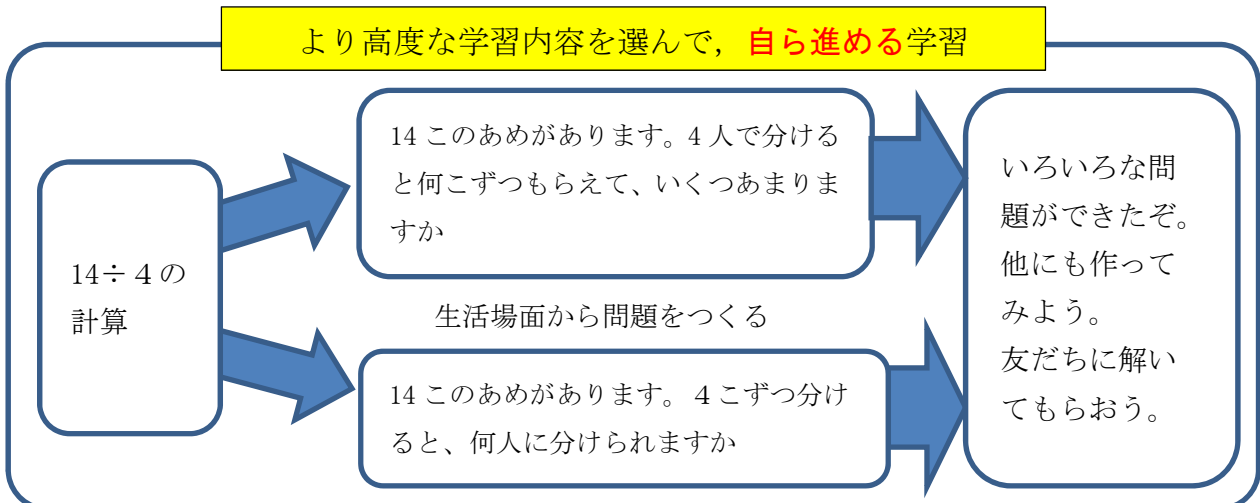
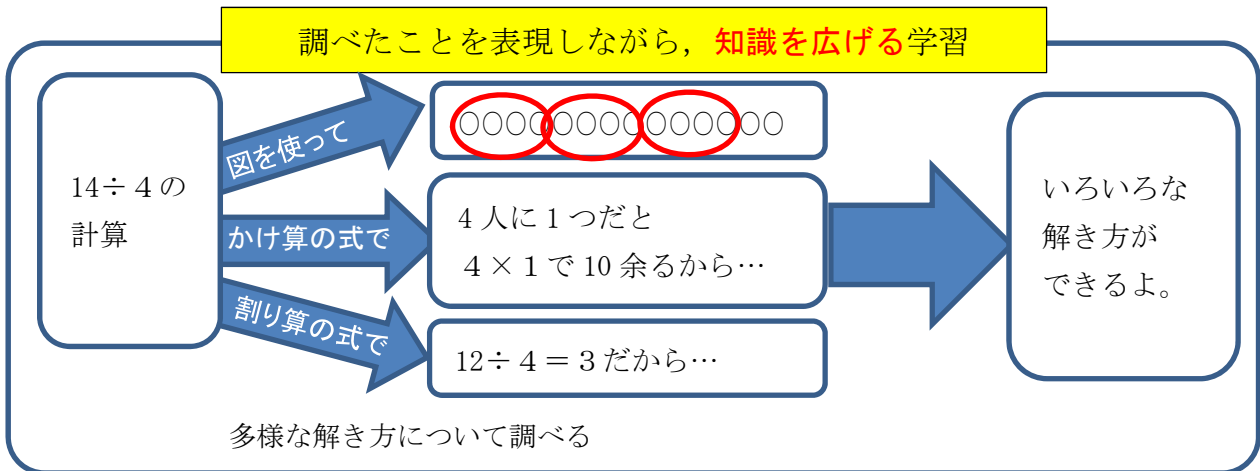
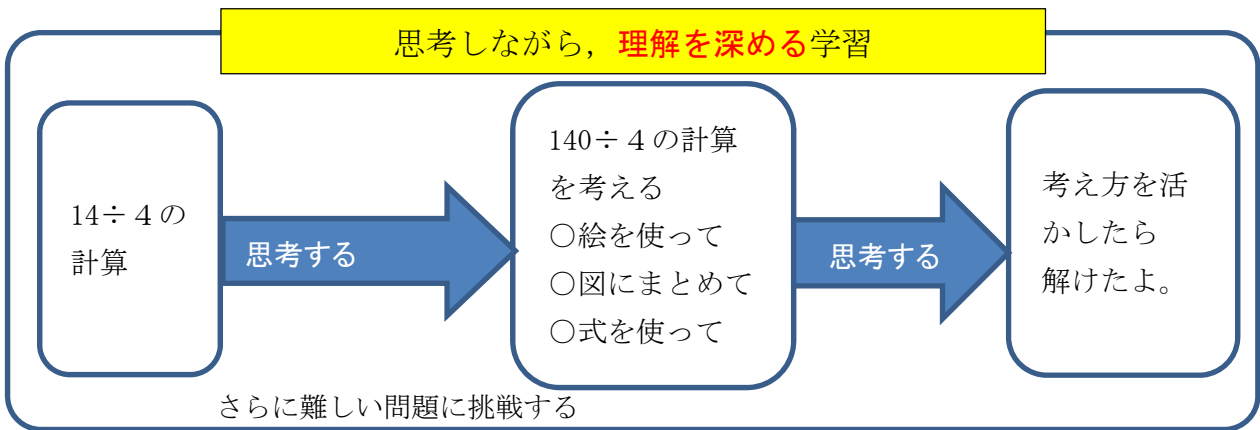
問題の難易度を徐々に高めて積み重ねる

○ 発展的な学習について

発展的な学習とは知識・技能の習得が十分な児童生徒の思考力や表現力などの伸長を図るための学習である。具体的には以下の3つの学習である。

- ① 「思考しながら、**理解を深める**学習」
- ② 「調べたことを表現しながら、**知識を広げる**学習」
- ③ 「より高度な学習を選んで、**自ら進める**学習」

3年生算数科「あまりのあるわり算」の発展的な学習



3. 教材について

各学校においては、児童生徒の学力実態をもとにした教材をダウンロードし、補充的な学習や発展的な学習に活用していく。

必要な教材については、ダウンロードをして使用できるものを、学校や研究団体の蓄積したデータを集約したり、新たに作成するなどして、教育委員会がさらに整備を進めていく。

現在も、活用できる教材がかなりアップされており、また国立教育政策研究所のHPにも、全国学力・学習状況調査の過去問題がアップされているので、こちらも活用ができる。

併せて、現在学校で使用している教科書やドリルなどについても、振り返りや定着のために活用ができる。

※現在活用できる教材一覧（H27. 8. 20 現在）

| 教材 | 内容 | 対象学年 |
|-----------------|-----------|-------------|
| 課題克服のための指導資料 | 算数・数学 | 小3～6年，中1～3年 |
| 県義務教育課作成教材集 | 国語・算数（数学） | 小5．6年，中1～3年 |
| 福岡市学習定着度調査過去問題 | 4（5）教科 | 小4．6年，中1．3年 |
| 全国学力・学習状況調査過去問題 | 国語・算数（数学） | 小5．6年，中2．3年 |

(Fine→学校関係要綱・様式等→各種手引き等)

(国立教育政策研究所→全国学力・学習状況調査)

<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuyokuy.html>

● 学力向上のための取組

● 定着度調査 過去問題

● 義務教育課 教材集・診断テスト

全国学力・学習状況の結果や、4年生・6年生の算数における課題克服のための指導資料をアップしている。また、児童生徒が苦手としている数量関係(図教領域)の指導資料もアップしている。

福岡市学習定着度調査の過去問題とその解答・解説をアップしている。

福岡県教育委員会が作成した教材集と診断テストをアップしている。(小5～中3対象)

国立教育政策研究所
NIER National Institute for Educational Policy Research

IQP > 教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」

教育課程研究センター「全国学力・学習状況調査」

■ 平成27年度調査

- 本体調査
 - ▶ 調査問題・正答例・解説資料について (2015年4月21日)

■ 平成26年度調査

- 本体調査
 - ▶ 調査問題・正答例・解説資料について (2014年4月22日)
 - ▶ 報告書・調査結果資料 (2014年8月25日)
 - ▶ 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた話 (2014年9月3日)

■ これまでの調査問題・解説資料等について

- 平成25年度調査
 - 本体調査
 - ▶ 調査問題・正答例・解説資料について (2013年4月24日)
 - ▶ 報告書・調査結果資料 (2013年8月27日、2013年12月25日)
 - ▶ 全国学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた指導の改善・充実に向けた説明会 (2013年12月26日)